小樽市立奥沢小学校

校長　井　村　文　俊

児童数　　２３０名

学級数　１３（４）学級

職員数　　２７名

―　「学び合い　高め合い　たくましく生きる　子どもの育成」を目指す学校経営　―

「たくましく　やりぬく子」の育成を目指し、体育科の授業改善や休み時間等を活用した体力向上に向けた取組の推進に努めている。

特に、体育専科教員を中心に、学習過程を工夫し、全学級の体育科の授業に「見通し」「学び合い」「振り返り」を確実に位置付けるとともに、児童が日常的に運動に挑戦することができる場を設置することにより、体力向上と運動に対する意欲の向上につながる取組の推進に大きな成果を上げている。

― 「見通し」「学び合い」「振り返り」を確実に位置付ける学習過程の工夫 ―

体育科の授業改善の取組として、全学級の体育科の授業で「見通し」「学び合い」「振り返り」を位置付け、生徒指導の機能を生かしながら、ティーム・ティーチングによるきめ細かな指導を行っている。

特に、学級担任と体育専科教員の役割を明確にし、「見通し」において、学級担任が動き方のポイントを説明し、体育専科教員が示範することにより、児童は、動き方をイメージできるようになるなど成果を上げている。

― 児童が日常的に運動に挑戦することができる場の設置 ―

休み時間や放課後に、校舎前にあるアスレチック遊具や体育館内にある「ジャンピングコーナー」等を活用し、児童が日常的にいろいろな運動に挑戦することができる場を設置し、体力向上と運動に対する意欲の向上に努めている。

特に、休み時間や放課後に複数の教員がついて、児童の挑戦する姿を認め励ましたり、称賛したりすることにより、運動意欲の向上に成果を上げている。

― 保護者・地域に信頼される学校を目指して ―

休み時間や放課後に、複数の先生が、子どもの挑戦する姿を認め励ましたり、称賛したりしてくれたことで、子どもの運動意欲が高まったので、これからも続けてほしいと思います。

複数の先生と学生ボランティアが夏・冬休みに実施している「体力チャレンジタイム」には、「奥沢サーキット」や「はしごドッジボール」など様々な運動ができるので、子どもが喜んで参加しています。（保護者の声）